

地域魅力向上・発信事業計画に基づく事業 評価報告書

1. 基本情報

事業番号	事業名						
A-2	アートの町「新地」創造・アートの魅力発信事業						
自治体名	経費区分（該当区分に○を入力）						
新地町	①情報発信事業				②外部人材活用		関連施設の 改修
事業実施年度	i 風評動向調査	ii 体験等企画実施	iii 情報発信コンテンツ作成	iv ポータルサイト構築	i 企画立案のための外部人材の活用	ii 地域の語り部の育成	
R6 年度		○					

2. 事業における目標と達成状況

アウトプット	アウトプットの達成状況
・アートイベントの開催 絵画展 1 回、建築アート展 1 回 ・新地アートの魅力モニターツアーの実施 1 泊 2 日を 2 回（交通費は宿泊者負担）計 70 名 ・新地アートの魅力招聘ツアーの実施 1 泊 2 日を 1 回 計 30 名 ・アーティストやインフルエンサーによる新地体験ファムツアーの実施 1 泊 2 日を 1 回 ・インフルエンサー活用による情報発信 ・CM 放送や雑誌掲載による広告発信 （CM 告知・紹介 5 回、情報誌掲載 1 回、ポスター 100 枚、SNS 発信 10 回以上）	・アートイベントの開催 絵画展 1 回、建築アート展 1 回 ・新地アートの魅力モニターツアーの実施 1 泊 2 日を 2 回（交通費は宿泊者負担）計 59 名 ・新地アートの魅力招聘ツアーの実施 1 泊 2 日を 1 回 計 39 名 ・アーティストやインフルエンサーによる新地体験ファムツアーの実施 1 泊 2 日を 1 回 8 名 ・インフルエンサー活用による情報発信 ・河北ウィークリー掲載 ・instagram 通常投稿 30 回、ストーリーズ投稿 125 回 ・X 通常投稿 24 回、リポスト 21 回 ・youtube ライブ配信 3 回、動画投稿 21 本
アウトカム	アウトカムの達成状況
・モニターツアーへの参加者 100 人 アンケート回収 100% ・アートイベント来場による県外からの誘客 3000 人	・モニターツアーへの参加者 59 人 アンケート回収 100% ・アートイベント来場による県外からの誘客 1100 人

3. 事業内容の詳細

具体的な取組内容の実績

アートの町『新地』創造・アートの魅力発信事業

- ①実施期間：令和 6 年 5 月～令和 7 年 3 月
- ②事業委託先：株式会社 C I A（プロポーザル委託）
- ③実施場所：新地町文化交流センター 他
- ④精算払額：25,000 千円
- ⑤実施内容：

（１）アートのまち「新地」体験モニターツアー事業《実施時期：R 6. 1 0 月》

○宮城県、山形県、新潟県、関東圏から一般の方をターゲットに、「新地ゆかりの画家 絵画祭」新地アートの魅力モニターツアーを実施する。絵画展の作品鑑賞に加えて、多様なワークショップやアクティビティを取り入れた。開催時期は令和 6 年 1 0 月 5 日から 6 日の 1 泊 2 日と 10 月 19 日から 20 日の 1 泊 2 日の 2 回の実施。申込み時には、SNS 発信やフォローを参加条件とする。参加者は 2 回合わせて 59 名。

ワークショップは、福島県重要無形民俗文化財「福田十二神楽」や、建築家の遠藤新の作品「くるめがすりの家」など、町の歴史文化を学ぶ新地歴史めぐり。新地町のシンボル「鹿狼山」のガイド付き自然体験ハイキングや、四季の花と太平洋が一望できる新地ガーデンの散策。大漁旗を掲げた漁船への乗船体験や釣り公園での海釣り体験。東日本大震災の復興拠点「釣師浜防災緑地公園」での震災語り部ツアー。また、町内施設に新地のイメージを描くストリートペイント体験。参加者は、太平洋の海岸や鹿狼山の山並みが一望できる町内ホテルへ宿泊、昼食は地元自慢の手打ち蕎麦や新鮮な海鮮を食べていただき、新地町のアートと食の様々な体験を通して、「新地」の魅力を存分に堪能していただいた。

○ツアー参加者には、絵画祭や町のアートな風景など積極的に投稿していただいた。

観光協会と連携したフォトコンテストも開催し町の魅力拡散につなげた。

○募集広告はテレビ CM、タウン誌、SNS を活用。モニターとなった参加者の事後調査（アンケート）を実施、課題の洗い出しと評価、課題解決へ向けた対策と改善に繋げた。

（２）『新地町の風土が生んだ 4 人の画家たち展』アート発信事業《実施時期：R 6. 1 0 月 5 日から 20 日》

○アートのまち『新地』を創造するイベントの開催。新地町文化交流センターにて 1 6 日間開催。

○文化交流センターを会場として、新地町ゆかりの画家「志賀一男」「坂元郁夫（雅号：薬師丸郁夫）」「齋藤研」「星茂」の 4 名の作品 69 点を展示する。来場パンフレットとして記念作品集も制作した。

○展示会場には大型モニターを設置し、画家出演による作品紹介動画を来場者に視聴していただいた。

- 展示作品のキャプションや記念作品集にはQRコードを取り入れて作品をデジタル解説した。映像は公式SNSで発信し、イベントのPRにつながらながら作品の理解を深めてもらった。
- 会期中、画家たちによるギャラリートークを開催し、イベント映像はYouTubeで配信した。
- イベントの開催にあわせて、新地町の“食”を体感できる食のイベント「SHINCHI Café」を絵画展会場にて開催。町観光協会や地元事業者等と協力して「食」のブースを出店し、特産品や地元農産物のPRと試食販売を行う。県外から来場された方には「食のおもてなし」として新地産野菜のいも煮汁ふるまい、新地町の美味しいものと食の安全安心をPRする。来場者にはSNSで情報発信していただいた。
- 県外向けにポスター、広告、SNS広告、大学への周知等により事業のPRをして、県外の方を呼び込んだ。
- 大学生など若手アーティストが中心となり、新地をイメージした作品制作に取り組み、絵画展のサブイベントとして新地公民館にて「新地絵画祭 2024」を令和6年10月12日から19日まで開催した。作品を制作した若手アーティストたちによるギャラリートークを令和6年10月14日に展示会場にて開催し、イベント映像はYouTubeで配信した。若者のネットワークを活用して新地アートの取り組みをSNSで拡散していく。許可が取れた作品については町内施設に常時掲示したり、観光PRに活用したりすることで、アートがあふれた町を創造していく。

（3）新地ゆかりの建築家「遠藤新」情報発信事業《実施時期：R6.7月12日から17日》

- 新地町出身で日本を代表する建築家「遠藤新」氏。フランク・ロイド・ライトに学び、そのデザインや空間の技術を受け継ぎ、帝国ホテルや甲子園ホテル、自由学園やドラマ撮影の舞台となる国指定登録有形文化財「葉山加地邸」など、数々の設計活動を行ってきた。こうした「遠藤新の世界」を建築アートとして、家具や設計図など町の文化資源の魅力を発信する。
- 文化交流センターを会場として企画展を開催し、建築設計書や建築物の模型、デザイン家具など、遠藤新の作品を展示する。町内に復元建設されている「くるめがすりの家（旧小塩邸）」を会場として、建築家のギャラリートークや専門家ガイドによる見学ツアーも実施した。ギャラリートークの様子はYouTubeで配信した。
- 宮城県や山形県・関東圏から、インフルエンサーや建築アートデザイン系の学生、芸術系の大学生や専門家等を招いて「新地アートの魅力招聘ツアー」を実施。遠藤新建築アート作品展の鑑賞とともに、建築アートや建築デザインについて、意見交換も行った。また、町の歴史文化を学ぶ新地歴史めぐりや鹿狼山の自然体験ハイキング、東日本大震災の復興拠点「釣師防災緑地公園」での震災語り部などを体験していただき、アートのまち「新地」の魅力から受けたインスピレーションをもとに作品創作などワークショップにも取り組み、完成した作品は、絵画祭サブイベントとして絵画展会期中に新地公民館にて展示を行った。ツアー参加者には様々な場面でSNS発信を促し、遠藤新や建築アートを新地文化の新たな魅力として拡散していった。

（4）アーティスト&インフルエンサーによる新地体験ファムツアー《実施時期：R6.9月7日から8日》

- 令和5年度に立ち上げた「アートのまち新地創造プロジェクトワーキンググループ」を継続して実施していく。作家、アーティスト、有識者、インフルエンサー、大学生、ITエンジニアなどを

招聘しファムツアーを企画、新地アートの価値を共に創りあげるプロジェクトチームを組み、迅速でかつ戦略的に事業を推進し、アートのまち新地の礎を築いていく。町内現況調査と検証を行い、意見交換をふまえ、事業推進に向けて計画から実行までのプランづくりへつなげる。県外向けのPR戦略も検討し、インフルエンサーなどの発信力を最大限に活かして、アートのまち新地を効果的に発信した。参加者は8名。

⑥上記⑤の実施内容が確認できる写真

(1) アートのまち「新地」体験モニターツアー事業



新地のイメージを描くストリートペイント体験



土器づくり体験



アートフレームを使った写真撮影

(2) 「新地町の風土が生んだ4人の画家たち展」アート発信事業



絵画展



画家たちによるギャラリートーク



いも煮汁のふるまい

(3) 新地ゆかりの建築家「遠藤新」情報発信事業



新地ゆかりの建築家「遠藤新展」展示風景



魅力招聘ツアー（くるめがすりの家見学）



魅力招聘ツアー（福田十二神楽見学）

(4) アーティスト&インフルエンサーによる新地体験ファムツアー



町内現況調査（鹿狼山）



町内現況調査（諏訪神社）



意見交換会